

## 基本計画シート ※記入例※

(記入例のため、実際の計画内容とは異なります。)

大綱 3	福祉・健康
政策 1	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり

現状と課題	<p>本市における高齢者人口の割合は、いわゆる「団塊の世代」がすべて 75 歳以上となる平成 37 年（2025 年）には、65 歳以上が 24.5%、75 歳以上 14.9%になると予測されます。全国と比較すると緩やかに高齢化が進むものの、地域によって高齢化の状況は異なっており、すでに高齢化率が 30% 近くになっている地域もあります。また、高齢化と核家族化の進展に伴い、ひとり暮らしの高齢者やいわゆる「老老介護」も増加しています。</p> <p>そのような中、高齢者一人ひとりの健康寿命延伸のため、生きがいつくりや健康づくりの取組を推進する必要があります。また、医療や介護が必要となっても、生活の基礎である住まいが確保され、医療、介護、予防、生活支援の各サービスが切れ目なく、一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められています。</p>
-------	---

目標	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築や、高齢者を見守り支え合う地域づくりを進めます。
----	--

## ■ 施 策 ■

施策コード	施策名	施策の内容	主な担当所管
3-1-1	生きがいくつくりと健やかな暮らしの推進	高齢者がいきいきと健康に暮らせるよう、生涯学習やスポーツなどを通じた生きがいくつくりなどを推進するとともに、介護予防に関する知識の啓発や地域での介護予防活動への支援を進めます。	高齢福祉室
3-1-2	介護の充実	高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、保健・福祉及び介護サービスの充実を図ります。	高齢福祉室
3-1-3	支え合って暮らす環境の整備	高齢者を地域で見守り支えるネットワークの構築や、地域のさまざまな相談援助体制の充実を図ります。また、高齢者の住まいや在宅医療などの環境の充実を図ります。	高齢福祉室

## ■ 指 標 ■

施策コード	指標名	現状(年度・年)	目標(H39年度)
3-1-1	何らかの社会参加をしている高齢者の割合	59.5% (H26年度)	70.9%
3-1-1	要介護状態にならずに生活できる高齢者の割合	81.1% (H27年度)	81.1%
3-1-2	地域密着型サービスの整備数	1か所 (H25年度)	6か所
3-1-3	認知症サポーター養成講座の延受講者数	7,055人 (H25年)	42,000人

指標名：1つの施策につき1～2個を目安に記入してください。

現状：指標の直近の数値を単位も含めて記入してください。括弧書きで年度（または年）を併記してください。

関連する主な個別計画
○第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
関連する主な法令・条例等
○老人福祉法 ○介護保険法